

〈フードバンクふじのくに〉への寄贈

現在、子どもの7人に1人が貧困状態にあるといわれています。フードバンク活動は、未利用食品を、必要としている人や施設へ提供する取り組みで、個人や団体からの寄付によって運営されています。

教職員生協では、社会貢献活動の一環として、フードバンク活動を支援するため、**教職員組合女性部共同購入**の利益の一部を〈フードバンクふじのくに〉に寄贈いたしました。

これも、**静教組女性部と組合員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。**

寄贈式

2023年11月8日

寄贈額

100,000円

food bank FUJINOKUNI フードバンクふじのくに

静岡県教職員生活協同組合 様

このたびは「特定非営利活動法人フードバンクふじのくに」にご寄付いただき誠にありがとうございます。

いただきました寄付金は様々な理由により生活に困窮している方々の支援のために利用させていただきます。

いただきましたあたたかいご支援に改めて心より感謝申し上げます。

今後とも末永くご支援いただけますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
フードバンクふじのくに
理事長 日詰 一幸



2023年11月8日 寄贈式

服部専務・酒井常務
(教職員生協)

宅見女性部長
(教職員組合)

【フードバンクふじのくに】様に寄せられる支援希望者は増加しているとのこと。

寄付していただいた食品等は、賞味期限や種類ごとに仕分けし、配付先に合わせて箱詰めをしていきます。各地区の参加支援団体からの要請に合わせて発送していきます。

教職員組合女性部共同購入では、今後も継続した支援をしていきます！

SDGs 目標 1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を



食品をストックしている棚から、
配付先を考えて、2週間分を箱詰めして、お届けします。

支援の受付、荷作り、発送等のご説明をいただきました。

事務所では、寄贈された食品が賞味期限ごとに仕分けされ、職員とボランティアの方が、協力して食品整理をされていました。



その他の取り組み

6月29日教職員生協の総代会・学生協連合会の総会の際、出席者に事前に呼びかけ、「フードドライブ」を行いました。

多くの食品を提供いただき、「フードバンクふじのくに」様に寄贈しました。



段ボール2箱分の食品を贈呈する
神谷理事長



食品の仕分け作業のお手伝い